

厚地リハビリテーション病院

住所：〒892-0841 鹿児島市照国町 13-37

TEL：099-226-1288

HP：<http://www.jifukai.jp/reha/>



リハビリテーション科医師(令和元年6月現在)

責任者(指導医)：専門医・指導医 山中弘子(鹿児島大 S62 卒)

総病床数：50 床、回復期病床：50 床

訪問リハビリ 外来リハビリ

理学療法士 14 名、作業療法士 13 名、言語聴覚士 5 名



責任者からのコメント

リハビリテーション医学は患者さんにより添って社会への橋渡しをする医療です。当院では主に脳卒中亜急性期の回復期リハビリテーションを行なっています。脳卒中は重い要介護状態になる一番の要因となっています。患者さんとその家族のより良い未来のためには、私たち診療に関わる全ての職種が密な連携をとることが必要です。職場は自己研鑽の場でもあります。リハビリテーション医療を通して皆さんが社会のニーズを感じ取り、成長できるようお手伝いします。

研修病院としての特徴

1. 多彩な関連施設

道路向かいにある厚地脳神経外科病院は単科の脳神経外科専門病院です。脳外科専門医・神経内科専門医が常駐し、脳外科手術はもちろん、t-PA も積極的に施行しています。必要時はカテーテル術による血栓除去も行います。病床は 67 床ですが年間約 1000 台の救急車を受け入れ、1500 人前後の入院があります。外来新患も月 700-800 人と多く、画像は当院でも見ることができます。また、同一法人内には小児リハを中心に行うクリニック、運動ジム、小規模多機能施設、認知症型デイサービス、老人保健施設、ヘルパーステーション、訪問看護、居宅介護支援事業所など地域に根差した多くの関連施設があります。

2. 多職種連携

リハビリテーション医学の遂行には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士をはじめ、主治医、看護師、ソーシャルワーカーといった関連職種との連携が必須です。回復期は患者ごとに毎月のカンファレンスが開かれますので、入院から退院までシステムチックに学習をすることができます。退院後の患者さんには必要に応じて外来リハビリや訪問リハビリも行っています。

3. 積極的リハビリテーション

当院では脳卒中に対しては健側強化、反復促通療法(川平法)、ボバース理論、PNF、ミラー療法などを個々に応じて自由に組み合わせ、パーキンソン病には LSVT-big を行っています。また、反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)、持続低周波刺激、Honda 歩行アシスト、上肢訓練支援装置 Cocoroe、歩行解析装置 VICON、Biodex による免荷+トレッドミルなどリハビリ機器の活用にも力を入れています。

最後に、鹿児島は本土最南端の県です。人生のほんのひと時をこちらですごしてみませんか。お待ちしております。